

一人で電車を利用するための指導

新潟県立小出特別支援学校 小学部 渡邊秀人 小林哲士 荻沢愛

課題

- 社会的な経験、学びの不足
- ・公共交通機関の利用の経験が少ない。
- ・電車、バスの乗り方が分からない。



目指す姿

- 社会の中で自分の力を発揮
- ・公共交通機関を利用し余暇の充実
- ・将来の職場への通勤



指導内容

券売機の利用方法



車内のマナー



適切な電車の利用

手立て・指導の工夫

環境の工夫

○模擬券売機



- ・iPad を活用した券売機
- ・実際の券売機の音
- ・硬貨投入口（実際に硬貨を入れる）
- ・切符の利用（コピーの切符を利用）

○ホーム

- ・利用するホームと同様の環境構成
- ・点字ブロックの線
- ・実際に乗り込める電車
- ・乗り降りの際の改札



校外学習を想定した流れ

- ・「券売機を探るところから始めるなどリアルな授業構成」
- ・当日：駅の利用→公園の利用→駅の利用

検定票（評価票）を活用した指導と評価の一体化

- ・工程分析
- ・検定表、手順表の作成
- ・客観的な評価からの個別の支援方法の検討

ここに実際に使った
検定表を貼ります

流れの中でポイントの確認

- ・動画や○×クイズを用いた指導
- ・体験の中での学び

成果

- ・スキル・マナーの定着



1人で



手順表の利用

- ・決まりを守って乗車



- ・公共施設の利用（社会的体験）



課題

- ・スキル定着のための追加の体験（家庭との連携）
- ・地域社会（家庭、学校以外）での学びの場面、活動の検討